

町田市・多摩市と連携して

# 「誰ひとり取り残さない、人に優しいデジタル化」の実現に向けて！

菅政権が誕生し、今秋のデジタル庁設置をはじめ我が国のデジタル政策は大きく加速しました。他方で、地元をまわると、デジタル化により社会から孤立してしまうのではないかという不安の声もたくさん耳にします。

こうした中、我が国のデジタル化に向けた基本方針では「誰ひとり取り残さない、人に優しいデジタル化」を謳っていますが、これを絵に描いた餅に終わらせてはなりません。携帯を使えない人が使いこなせるようきめ細かくサポートする、あるいは携帯を持っていない人の行政手続き等を代行するための支援員の存在が不可欠になります。こうした担い手として、地域のICT企業、社会福祉協議会、シルバー人材センター等が想定されますが、全国の身近な場所に存在する携帯ショップが期待されています。政府はすでに「デジタル活用支援事業」を用意し、今年度だけでも携帯ショップ等1,800箇所計9万回のワークショップを開催します。

私達は加藤官房長官にも参加していただいていた少人数の勉強会を開催し、デジタルデバインド対策(\*)の議論を続けてきました。来年度以降は上記の「デジタル活用支援事業」の開催頻度や予算を増やし、更にはワークショップ形式に加えて常設型の支援も設けることなどによって、デジタル大

(\*)デジタルデバインド…インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと。

国デンマークのITカフェに近い形の手厚い支援になるよう政府と調整しています。

地元町田市・多摩市でもデジタルデバインド対策をきめ細かく実現すべく、総務省、町田市・多摩市の担当者、町田市・多摩市議会議員、携帯ショップ等をオンラインで繋ぎ、意見交換会を開催しました。この意見交換会を通して、町田市・多摩市がこの事業に意欲的に取り組んでいくことになりました。この事業は国の全額負担なので、自治体の持ち出しはありません。国と地元自治体との情報格差を解消していくことで地元で事業を実現していくのも国会議員の重要な任務だと感じています。



## 自民党町田支部の都議会議員・町田市議団

私達も、小倉まさのぶさんと共に、東京都、町田市のためにがんばります。



東京都議会議員 星だいすけ

吉原修都議会議員(5期)の勇退に伴い、先の都議会議員選挙で初当選させて頂きました。



熊沢 あやり



いわせ 和子



おさむら 敏明



佐藤 伸一郎



藤田 学



若林 あきよし



三遊亭 らん丈



渡辺 げんたろう



石川 よしただ



木目田 ひでお

各地区(町田・堺・忠生・鶴川)の小倉まさのぶ通信も配布しています。ご覧になりたい方はご連絡ください。HPからダウンロードも可能です。

衆議院議員 小倉まさのぶ事務所

@masanobu\_ogura ogura.masanobu

町田事務所: 〒194-0013 東京都町田市原町田5-4-7 からかあさ101号 TEL: 042-710-1192  
多摩事務所: 〒206-0041 東京都多摩市愛宕4-9-22 池田ビル103号 TEL: 042-400-1751  
[E-mail]info.oguramasanobu@gmail.com [HP]http://www.ogura-m.jp/

衆議院議員 町田市・多摩市選出 (自民党東京都第23選挙区)

真摯に、ひたむきに。



# 小倉まさのぶ通信

2021年 vol.3 | 町田 | 南地区版 |



## 国会議員はどのように地元の要望を実現すべきか ～8年半の議員活動で考えてきたこと～

地元活動をしており「国会議員は国民の代表者なのだから、国のために仕事をして欲しい」との声がある一方で「町田市・多摩市の国会議員なのだから、地元に残して欲しい」との声も聞きます。一見相反する意見のようにみえますが、私は双方の意見は矛盾するものではないと思います。町田市や多摩市などの地方自治体は、地域に身近な窓口として自治体の業務だけでなく国の業務も担っています。地方分権が進み自治体の責任の下で行う業務が増えてきたとはいえ、自治体は今も四割程度の税収で六割もの仕事をこなしています。ギャップの二割は地方交付税や各種補助金という形で国から自治体に財源移転されます。この割り振りを国が行いますが、今はそれぞれの地域の財政需要が国の財源を遥かに上回っていますので、真に必要な支援が国から全ての地域に行き届いているとは言えません。そのギャップを埋めるのが国会議員の役割のひとつだと思います。

衆議院議員は(比例復活の議員を除き)289の小選挙区にそれぞれ一人ですから、その議員が地域の事情を国に伝えなければ、国はその地域の特殊事情に目を向けることは殆どありません。私が国会議員になって初めて地元の市長との予算要望活動を行うようになりました。例えば、町田市は多摩川の流水域に面していないので市単独の下水処理場を水系毎に二つも抱えています。大変珍しいことではありますが、その分、他市と比較して財政負担が重くのし掛かっています。このような事情

を数年にわたって総務大臣に説明をした結果、特別交付税という市が自由に使える交付金が従来より4倍の年間約2.4億円となりました。

また、地元に必要なものは国からの予算だけではありません。地方自治体の責任が拡大するにつれ、医療や教育などの国の政策が必ずしも自治体の現場で実践されない課題も出てきました。例えば、国は教育のデジタル化を推進しています。平成30年度より国は児童生徒3人あたり1台の教育用タブレット・コンピュータを用意できるだけの財政支援を行っていましたが、この支援は地方交付税という紐付きの補助金ではなく自治体の判断で自由に使える交付金のため、多くの自治体では他の事業に交付金が使われてしまい、結果として教育用コンピュータの整備が遅れてしまいました(令和元年度補正予算により別枠で一人一台端末の予算が確保されたので、これにより大幅に整備が進むことになりました)。したがって、国の政策を地元の都議会議員や市議会議員と共有し(他方で都や市の事情を国の政策に反映させることもあります)、国と自治体で整合性のとれた政策にしていくことも国会議員の使命であるとも思い行動してきました。

国会議員、都議会議員、市議会議員が役割分担したうえで町田市・多摩市の発展のためにシームレスに連携することが重要と考えて行動していきます。

【町田市南地区との要望活動と成果は中面に記載】



### 国から町田市への交付金額 大幅増額を実現！

特別交付税は、災害や特別な地域事情により地方自治体が資金不足にならないよう臨時的財源として国から交付されます。複雑な算定式を経て決まる交付税総額の6%と定められており、全ての地方自治体が一定の水準を維持できるよう総務省も算出していますが、それぞれの地域実情を全て把握しているわけではないので、その地域の事情と交付額が乖離しているケースも散見されます。

### Profile

衆議院議員 小倉まさのぶ 町田市・多摩市選出 (自民党東京都第23選挙区)

- 1981年 5月30日 多摩市生まれ、町田市在住
- 2000年 3月 栄光学園高等学校 卒業
- 2004年 3月 東京大学法学部 卒業
- 4月 日本銀行 入行
- 2009年 7月 オックスフォード大学大学院 修了
- 2012年 12月 第46回総選挙にて初当選
- 2014年 12月 第47回総選挙にて2期目当選
- 2017年 8月 総務大臣政務官 就任
- 10月 第48回総選挙にて3期目当選
- 11月 総務大臣政務官 再任
- 2019年 7月 桜美林大学客員教授 就任

目指せチャンネル登録1000人！  
小倉まさのぶチャンネル

YouTube



# 町田市 / 南地区 小倉まさのぶ8年半の活動成果

## 魅力あるまちづくり



創造

町田市は町田駅前に次ぐ副次核のひとつとして、南町田を指定しています。南町田がその機能を果たせるよう、当選以来、石坂丈一町田市長と共に国土交通省へ予算要望に伺い、南町田駅周辺のまちづくりを訴えてきました。

町田市は、若者の定住促進や街の魅力向上を図る取り組みを行っています。南町田駅前の再開発や鶴間公園整備事業を通じて、これからも子供から大人まで住みやすいまちづくりを目指します。



2017年に閉館した「グランベリーモール」跡地と、隣接する鶴間公園に完成した、「南町田グランベリーパーク」は、旧施設の約2倍になる約230店舗の商業施設を構え、世界で唯一の公式サテライト「スノーピーミュージアム」や、町田市初となる民間が運営する子どもクラブ「つみぎ」、町田唯一のシネコンなども整備されました。

2013.2.20  
町田市議会議員の先生方とともに、鶴保庸介国交副大臣(当時)へ国道16号町田立体整備の予算要望に伺いました。“コンクリートから人へ”を掲げる民主党政権から自民党政権に代わり**国道16号への予算が大幅に増額されました。**

2014.6.21  
東急電鉄 田園都市線のダイヤ改正が行われ、南町田駅(当時)に準急が新たに停車するほか、**休日に急行も増便されることになりました。**

2016.4.24  
**国道16号 保土ヶ谷バイパス 町田立体の本線開通**  
計画から50年、着工から16年の時を経て完成しました。国道16号の渋滞が大きく緩和され、バイパスに取り付けられた遮音壁により、騒音も大きく緩和されました。



鶴間小学校の皆様と



田中良生国交副大臣(当時)へ予算要望に行き、要望額に対して満額回答近い内示額を頂戴し、南町田駅前が大きく変わりました。

2018.1.30  
国交副大臣に再度、予算要望



2019.10.1  
南町田駅から**南町田グランベリーパーク駅**に改称。土日祝しか急行は停車しませんでした。平日も停車するようになりました。

2019.11.13  
**南町田グランベリーパークまちびらき**



循環

## 循環型社会の創出・環境の整備

成瀬クリーンセンターは1977年に運転が開始されてから、40年以上が経過しています。石坂丈一町田市長と共に要望活動を重ね、特別交付税や国交省の補助事業を活用し、施設の老朽化対策を行ってきました。

また、下水処理における課題として、維持管理費の財政負担、省エネに必要な新たな高度処理技術、現場の管理負担軽減が挙げられます。これらを一挙に解消するため、国土交通省が提唱している下水道革新的技術実証事業(B-DASHプロジェクト)に「単槽型硝化脱窒プロセスのICT・AI制御による高度処理技術」を提案し、2020年1月より成瀬クリーンセンターで行われることになりました。ICT・AI制御により下水処理施設の建設の設費削減、省エネ、現場の管理負担軽減などを目指します。



朝日健太郎国交政務官へのコロナ禍での要望活動は、オンラインで行われました。



若林章喜町田市議会議員(当時)と一緒に、B-DASHプロジェクト完成記念式典に出席しました。

共生

## 人生100年時代、認知症の方でも参画できる社会へ

2019年6月に小泉進次郎厚労部会長(当時)と一緒に、町田市の認知症の取り組みを視察しました(右上の写真)。町田市成瀬台にある認知症デイサービス事業所「DAYS BLG!」の利用者の方々は、事業所に籠って作業をするだけでなく、金森のホンダカーズと連携し、洗車の仕事をしています(右下の写真)。

町田市で初めて実現したこの取り組みには、事業会社の協力は欠かせません。政府が認知症の取り組みを支援する事業会社にノウハウを提供するなどの後押しをすることで、この**町田モデル**も全国に普及するのではないかと思います。

2025年には認知症の症状の方が700万人に達するとみられています。人生100年時代、認知症の方でも社会参画できる環境整備(制度設計)が必要です。

2019年の通常国会において、自民党と公明党は、『認知症の予防等を促進しながら、認知症の人が尊厳を保持しつつ社会の一員として尊重される社会の実現を図る』ことを目的に掲げ、認知症基本法案を共同提出しました。これを受けて政府は同年6月に認知症施策推進大綱を策定し、いずれも“予防(認知症の寛解)”と“共生”を2本柱に掲げています。ここでは2020年度末までに1,200万人の認知症サポーター養成を目指していましたが、これを大きく超える約1,300万人以上の養成を達成しました。また、認知症の症状に応じて、いつ・どこで・どのような医療・介護サービスを利用できるのかをまとめた認知症ケアパスを、全国の85%以上の市町村が作成しています。

認知症になっても、希望を持って日常生活を過ごせる豊かな社会をつくれるよう、小倉まさのぶも後押ししていきます。



地域活動



町田市成瀬をホームタウンとする、ASVベスカドーラ町田の試合を観戦。今シーズンの活躍も期待しています。



成瀬杉山神社の節分祭に参加し、豆まきをしました。

当選以来、多くの地元行事に顔を出し、地域の声に耳を傾けてきました。コロナ禍にあって、多くの行事は中止や延期が続いていますが、可能な範囲で活動を行い、これからも皆さまの声に寄り添っていききたいと思います。



毎年きれいに咲いている、金森6丁目にある横田園さんのひまわり畑に立ち寄りしました。



鶴間町内会大運動会にもお邪魔しました。地域の子とも触れ合える楽しい機会です。



地域の夏祭りにも顔を出させて頂いています。暑い中での設営、運営、撤収作業をされている皆さまに頭の下がる思いです。



神輿会の方々と高ヶ坂熊野神社の神輿を担がせて頂きました。暑い夏のいい思い出です。

## これからの展望

### 住環境の整備

80年代のドラマ「金曜日の妻たちへ」の舞台になった閑静な住宅街のイメージの強いつくし野も、あれから30年以上の月日が経ち、住人の方々の高齢化も進んで、空き家も目立ってきました。これからこの住宅街を守っていくために、空き家問題は喫緊の課題です。

小倉まさのぶは、自民党住宅土地・都市政策調査会の中古住宅市場活性化委員会の一員として、引き続き、中古住宅の流通促進と**空き家問題**に取り組み、高齢者の方々が駅近のマンションに移住され、子育て世帯が住宅街の広い戸建てに移り住むことなどできるような環境整備をしていきます。

駅での朝のご挨拶も欠かせません。学生の通学姿や、これから出勤される方々の背中を見送り、私も国会へ通っています。

### 交通

南地区には多くの駅やバス路線があり、町田駅や都心へのアクセス環境が整っています。一方で、成瀬-南町田間のように南地区内での交通の便が悪いことが課題です。地域の足の確保のために取り組んで参ります。

### まちづくり

鶴間の大ヶ谷戸地区ははじめ、より広いエリアの住民の皆様の利便性が向上するよう、南町田グランベリーパーク駅までの安全なアクセスを整備します。

